

アマモすくすくプロジェクト ～種取り 深江小学校・大野木場小学校～

令和7年6月26日(木)に深江ブループロジェクト活動組織が、南島原市立深江小学校、大野木場小学校5年生(児童39名)と一緒にアマモの種取りと刺網体験を行いました。

5月の学習会でアマモの生態について学び、今回は深江町の海岸にあるアマモ場へ行き、児童達がアマモを見つけるところから始まりました。初めて海へ入る児童が多く、最初は抵抗があった児童も徐々に慣れていき、アマモ探しに熱中していました。

次に、海の生物観察のため、アマモ場や岩場の近くへ行き、どんな魚や貝が生息しているのか探しました。中には、カニやウニを見つけた児童がいたり、水クラゲが漂着しているのを見て不思議そうに観察する児童がいたり、夢中になっていました。

また、児童全員でロープを引っ張り、刺し網漁を体験しました。「せーの！！」とかけ声をかけながら、ロープを引いても簡単には手繰り寄せることが出来ませんでした。時間をかけて何度も挑戦しました。

7月17日(木)には、小林小学校5年生(児童18名)も種取りを行い、今回採取した種は移植する予定です。



集合写真



海に入る様子



アマモ



アマモの種を探し中



アマモの種を発見! ?





岩場で見つけたウニ



ガザミ



刺し網漁を体験する児童達



ロープを引っ張る様子



アサリ貝の浄化作用実験(浄化前)



アサリ貝の浄化作用実験(浄化後)